

福岡の“いま”を伝える地域経済情報誌

令和2年9月1日発行 第385号 (毎月1日発行) 平成3年1月18日第3種郵便物承認

9 2020
月号

ふくおか経済

FUKUKEI
vol.385

特集

マスク市場
県内主要道路整備

福岡・九州主要企業トップに聞く

表紙の人

道永幸典

西部ガス社長

事業構造の多様化、強じん化さらに推進

連載・ポストコロナの道標
福岡商工会議所
藤永憲一会頭

特別インタビュー
安川電機

THE VENTURE
パースペクティブ・アール・イー

PR企画
スポーツ&ヘルスケア特集

特集
Feature Article

再開へ動き始めた福岡のエンタメ市場

産官学でリノベプロジェクト

アンサー倶楽部

総合不動産業の(株)アンサー倶楽部(北九州市小倉北区浅野2丁目、三谷俊介社長)は8月4日、木造住宅のリノベーションプロジェクトを始めた。

行橋農林事務所と西日本工業大学との産官学連携で取り組むもので、名称は「木質賃貸(もくちん)」。同社の賃貸物件「AC戸畑」の一室で、学生がクロス塗装や壁取納の設置などを手掛ける。SDGsの観点から地域材や無垢材などを利用し、廃材を抑えていく方針。9月末の完成と10月中旬の公開を目指す。今後は同大学デザイン学部のある西小倉駅周辺エリアに進展を図る。前田啓美常務は「自分で作る余地のある賃貸物件として、多くの学生が地域に住み継ぐようなまちづくりの将来像を描いている」と話している。



企画の内容を説明する西工大の学生



完成イメージパース

材料を手に取り確認する前田常務(右)。隣は三谷社長

那珂川市の店舗をドライブイン業態へ一新

新生堂薬局

調剤薬局やドラッグストアを展開する(株)新生堂薬局(福岡市南区中尾3丁目、水田悦社長)は7月27日、那珂川市中原のドラッグストア併設型調剤薬局「新生堂薬局 那珂川店」をドライブイン対応の新業態にリニューアルした。

新型コロナウイルス拡大によるドライブイン需要の高まりを受けたもの。場所は県道56号沿い、通称もみじ通りの博多南駅西口交差点北側。ドライブインに対応するのは調剤薬局店舗で、専用窓口で処方箋を提出し、店内に入ることなく車内で処方薬を受け取ることができる。また、増員により手狭となっていた調剤薬局スペースは以前の約4倍に拡張した。営業時間は平日が午前9時から午後7時、土曜日が同9時から同6時。



店舗面積は約711㎡



「今後も需要に応じて既存店のドライブイン業態への転換も考えている」と話す水田社長



駐車場側に設けられたドライブインの専用窓口

博多リバレインに宇治茶カフェ

大阪市のアイシン商事

鉄鋼類や日本茶の輸出を手掛けるアイシン商事(株)(大阪市、瀧村幸一社長)は8月1日、商業施設「博多リバレインモール」地下2階にオーガニック宇治抹茶を使用したメニューを提供するカフェ「甘味処たきむら」をオープンした。店舗開設は今回が初。目玉は高さ13cmのポリウムとふわりとした食感が特徴のかき氷。そのほかパフェなどもそろえる。瀧村社長は「昨年春くらいから出店候補地を探していた。今回の店で、宇治茶を九州でも広めたい」としている。また、同店のかき氷を作る氷削機を製造する池永鉄工(株)(大阪市)の池永一雄社長は「これぞ究極のかき氷だと訴えたい」と語った。店舗は座席数43席で営業時間は午前10時半から午後7時半まで。



13cmあるポリウム満点のオーガニック抹茶小豆かき氷を紹介する瀧村幸一アイシン社長(左)と池永一雄池永鉄工(株)社長



氷削機により、ふわふわとした食感が生み出される

店舗は地下2階にある